学校番号	T0207

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	現代高等保健体育　改訂版　（大修館出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・健康・安全について理解しよう。
・健康には、生涯の各段階の中でさまざまな課題があることを理解し、適切な対応をとることが重要であることを理解しよう。
・わが国における環境汚染や食品、労働問題についての問題点を考え、国としてどのような対策を行っているか、また個人としての正しい取り組みを考えてみよう。

２　学習の到達目標

・社会生活における健康の保持増進について、環境や食品・労働が深く関わっていることを理解し、さまざまな対策が必要であることを考えることができる知識や技能を身につける。
・生涯の各段階において健康についての課題があることを理解し、自ら適切に対応できるような思考力判断力表現力を身につける。
・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力、また態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯を通じた健康、社会生活と健康について、適切な行動選択ができるように理解したり、身の回りの環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。	生涯の各段階においての健康の課題や社会生活における健康について、総合的に考え解決していけるようになる。	生涯を通じた健康、社会生活と健康について、主体的に取り組み学習しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="5">前期</td><td rowspan="5">現代社会と健康</td><td>・健康の考え方と成り立ち
・私たちの健康のすがた</td><td rowspan="10">a:健康についての知識を深め、健康を維持すること、悪影響を及ぼすことについての課題を考え、自己の健康管理ができる。

b:思春期における心と体の成長や変化、また生涯の各段階における健康についてなどを理解し、自分の意見を述べたり、書き出したりしている。

c:健康を維持すること、悪影響を及ぼすことについてなど、自ら主体的に取り組み、学習しようとしている。</td><td rowspan="12">授業プリント

テスト

実践講習</td><td rowspan="12">授業プリント

テスト

実践講習</td><td rowspan="12">授業プリント

授業内の取り組み

実践講習</td></tr>
<tr><td>・生活習慣病の予防と回復
・がんの原因と予防
・がんの治療と回復</td></tr>
<tr><td>・運動と健康
・食事と健康
・休養・睡眠と健康</td></tr>
<tr><td>・喫煙と健康
・飲酒と健康
・薬物乱用と健康</td></tr>
<tr><td>・精神疾患の特徴
・精神疾患の予防
・精神疾患からの回復</td></tr>
<tr><td rowspan="5">後期</td><td rowspan="3"></td><td>・現代の感染症
・感染症の予防
・性感染症・エイズとその予防</td></tr>
<tr><td>・健康に関する意思決定・行動選択
・健康に関する環境づくり</td></tr>
<tr><td rowspan="3">安全な社会生活</td><td>・事故の現状と発生要因
・安全な社会の形成
・交通における安全</td><td>a:交通安全について知識を深めている。事故防止のための知識を身につけている。応急手当の知識を身につけている。心肺蘇生法を実践できる。

b:社会生活において事故は密接に関係していることを知り、防止や解決のためにどうすればよいかを考え、適切な行動選択ができる。

c:事故の防止、安全な社会の構成、心肺蘇生法について理解し自分の意見を述べたり、書き出したりしている。積極的に学習しようとする。</td></tr>
<tr><td>・応急手当の意義とその基本
・日常的な応急手当
・心肺蘇生法</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度